

事業 No. 1-15 小原規宏 実地学習への交通費補助報告書

実施期間 2025年5月10日(土)

実施場所 筑波山

参加者 学生13名(男子4名, 女子9名), 教員1名

目的 学科専門科目「自然地理学」のフィールドワークとして, 筑波山に登山しながら, 地形・地質, 植生, 土壌, 水文などの自然と生活・文化との関係を観察し, 中学校社会科・高等学校地歴科の教職や, 地域調査士としての資質を育む。

日程

8:00 茨城大学発(貸切バス) —10:00 筑波山つつじが丘駐車場着

10:15 駐車場出発(徒歩) —12:00 女体山山頂(徒歩) —12:20 御幸が原着 昼食

13:00 御幸が原発(ケーブルカー) —13:20 筑波山神社着

13:30 筑波山神社発(徒歩) —15:00 筑波山梅園駐車場着

15:15 筑波山梅園駐車場発(貸切バス) —17:00 茨城大学着

活動の様子



弁慶の七戻り

はんれい岩の巨岩の下をくぐる。武蔵坊弁慶も怖くて引き返したという言われがある。



ブナ林

氷河時代の生き残りとして, 東北地方のブナが山頂にある。

学生の感想(一部)

- ・自分一人で筑波山に登っていたら気づけないようなことを, 地理学的な視点から, 深く学ぶことができた。雨の中の巡検で大変だったが, 実際に筑波山で植物や地形を見ることで, 新たな気づき, 驚きがたくさんあって, 良い経験になった。
- ・雨が降っていて大変だったが, いつか登ってみたいと思っていたので, 登り切ることができてよかった。普通に登るだけだったら, 高さによって生えている植物や筑波山を構成する岩盤について学ぶことはできなかったと思うので, それを学ぶことができてよかった。特に山頂に寒いところにあるはずのミズナラやブナが, 氷河時代の生き残りとして生えていること, 太宰府と筑波山にしかないマルバクスという植物のことなどを知ることができて, とても面白かった。